

◎第3学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○区の学力調査によると、「漢字を書く」問題では、区の平均値を12.8ポイント上回っている。 ●「文章を書く」問題では、全国・区の平均は上回っているが、正答率が63.6%で、他の領域と比べると低い。	・語彙を増やすために、普段から辞書を活用して、分からない言葉や言い回しを調べていく。 ・朝学習の書くことタイムを活用し、定型文を使いこなしていけるようにする。 ☆自分の考えたことや気持ちなど内容のまとまりを書くよう普段から意識させてください。 ☆本を読む機会をつくってください。	
社会	○地域探検等で学校の周りや中野区の町の様子など、意欲的に調べることができる。 ○地図記号を意欲的に覚えた児童が多い。 ●地図や資料からどのような土地利用がされているか読み取れない児童がいる。	・スーパーマーケットの見学などで見る視点をもたせ、意欲を高めると同時にメモする力を付けていくようにする。 ・地図やグラフ等の資料を用意し、そこから読み取れることを個人やグループで考え、交流する時間を設ける。 ☆一緒に買い物に行ったり、出かけたりして、身近な中野区の様子に触れさせてください。その際、「なぜだろう？」と感じたことを受け止め、思考を深めるきっかけにしてください。	
算数	○区の学力調査によると、「長さ」「かさ」の問題では、区の平均値を10.7ポイント上回っている。 ●「時ごとと時間」の問題では、目標値は上回っているが、区平均は3ポイント下回っている。	・日常生活の中で算数的活動を重視し、量や時間を意識させる、量を比べたり、測定したりする習慣を付けさせることで、量や時間の感覚を体感的につかませていく。 ☆時計を見て、時間を求めたり、身の回りの物の長さやかさ、重さを予想したり測ったりする経験を日常生活の中で取り入れてください。	
理科	○身近な動植物に興味をもち、意欲的に育てたり観察したりすることができる。 ●実験の結果から分かることを考察できる児童が少ない。	・実験の結果だけでなく、予想と比較して分かったことを書けるように指導する。また、実験後の学び合いの時間を大切にする。 ・結果や考察を分かりやすく書けるようノートの書き方を重点的に指導する。 ☆科学的なものの見方を育むことができるよう、生活の中での身近な自然の変化について、「どうしてだろうね。」などと疑問を投げかけてください。	
音楽	○音楽に親しんで取り組んでいる姿が見られる。 ●リコーダーに苦手意識をもち、継続的に取り組むことが難しい児童がいる。	・お手本となる児童と組んで教え合いながら取り組む場を設けたり、休み時間などを利用して、個別に対応したりする。 ☆授業で扱った曲や、日常流れている音楽について話題にし、お子さんと一緒に楽しんでください。また、楽器で困っていることがあれば、できるだけ練習に付き合ってください。	
図工	○感じたり考えたことを色や形に表すことに関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 ●着色の工夫、正しい接着の方法など、基礎的な技能を活用する力が不足している児童もいる。	・既習の技術を再確認して、安心して制作に取り組めるよう指導する。 ・児童の制作意欲を高められるよう、新しい技法や材料の提示をきめ細やかに提示していく。 ☆新しく取り組んだ題材の楽しさや、新しく身に付けた技術についてお子さんから話を聞いて共感してあげてください。センスよりも描いたり作ったりする意欲を褒めて伸ばしてあげてください。やる気がセンスと技術を磨いてくれます。	
体育	○体力テストによると、男子は「握力」、女子は「20mシャトルラン」が全国平均を上回っている。 ●「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」は男女ともに全国平均を下回っている。	・課題となる敏捷性や瞬発力を高める運動、例えば、「鬼遊び」「なわ跳び」「ジグザグ走」などを授業に取り入れていく。 ・持久走やなわ跳びなど、体育的行事への積極的な参加を促す。 ・体育の授業内の運動量を確保する。 ☆放課後は外遊びをするように声かけをしてください。また、休みの日は、ご家族で体を動かして遊ぶ機会をつくってください。	